

額田村文書概要

1:文書群番号	063001
2:文書群名	額田村文書
3:出所	福井吉右衛門家
4:家業・役職等	額田村庄屋
5:地名	摂津国川辺郡額田村／兵庫県川辺郡額田村／川辺郡小田村額田／尼崎市額田／尼崎市額田町ほか
6:行政区分	(相給①) 旗本柘植氏(正俊系)知行所／兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼崎市 (相給②) 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼崎市
7:歴史	額田村は、市域北東部、藻川沿いに位置する。村名の初見は、文禄3年(1594)の「善法寺村検地帳」に「ぬかた」とある。村の石高合計は147石余、屋敷地は9筆である。村の大部・旗本柘植氏領は、石高112石余、天保7年(1836)宗門改帳では家数17軒、人数72人、全員が石蓮寺(現豊中市)興法寺檀家。村の小部尼崎藩料分は、青山氏時代の寛文9年(1669)ころには34.5石、家数2軒、人数7人であった。水利は西明寺井組に属した。氏神は白井神社(近世には白井天王社)。なお、尼崎市域穴太村も旗本柘植氏知行所で、幕末期には穴太村庄屋が額田村庄屋を兼帶している。
8:伝来	昭和38年に古書籍商より市史編集室が購入。
9:史料入手先	古書籍商
10:点数	125点(目録件数112件)
11:年代	寛永3年(1626)～明治33年(1900)
12:構造と内容	本文書群は、①額田村の村政関係、②水利、③金融関係等の史料からなる。 ①は、近世では検地帳、名寄帳、免状等の土地・貢租関係史料、諸願留、村絵図などがある。一部に川辺郡上阿古谷村(現猪名川町)・万多羅寺村の史料が含まれている。近代では一筆限地価取調等地租改正関係、戸長役場及び小田村委会関係、送籍証等戸籍関係の史料がある。 ②は西明寺井、堤防維持費関係史料のほか、藻川筋絵図などがある。さらに三平井ないし大井関連史料も含まれる。 ③は田地・畠地・家屋等の売買、質入証文のほか、借用金証文がある。
13:関連史料	(穴太村)篠部正幸氏文書、(神崎村)田中大庄次郎氏文書(1)
14:閲覧条件	原本
15:作成者	河野未央、松本望

※本目録は『古文書・近現代文書類目録集』1(『尼崎市史編集目録集』25)掲載の「額田村文書目録に新たに差出(編著)・宛先・形態・点数・和暦(年月日)・西暦等の情報を追加しました。

※本目録を作成するにあたり、本文書群の再整理を行いました(令和4年6月～7月)。再整理(文書整理カード採録)は、古文書再整理作業ボランティアの方々にご協力いただきました。